

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0972400196		
法人名	有限会社ティアンドエス		
事業所名	グループホーム青い空		
所在地	栃木県佐野市山形町296 (電 話) 0283-65-0017		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成19年8月8日	評価確定日	平成19年9月19日

【情報提供票より】 (平成19年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤7人, 非常勤1人, 常勤換算7.5人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造		
	1階建ての1階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	・水道光熱費-10,000円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(平成19年4月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	3 名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低	75 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐野市民病院、相田婦人科内科医院
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

歴史のある旧道から少し入った小高い場所に、竹林に囲まれ、季節ごとの自然をその場で感じられる静かな場所にこのホームは位置する。「常に入居者の立場にたった視点」を大切にしており、それを当たり前のこととして、入居者に寄り添いながらケアを行っている。管理者が積極的にケアに参加しながら日々の気づきを職員全体で共有し、日々向上しようとする意識の高さがうかがえる。また、入居者の身体的な機能の低下にも十分に対応しながら、積極的に外出できるよう計画的に取り組んでおり、入居者と職員と一緒に泊まりの旅行もしている。1ユニットの少人数の良さを十分に活かした丁寧な関わりや温かい雰囲気のある家庭的なホームである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	関係機関との連携が課題となっていたが、近隣のホーム等との情報交換や職員の行き来も始まり、徐々に連携が深まってきている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員に調査票を配布して自己評価票を作成している。職員の「気づき」のきっかけとして活用している。制度やグループホームを取り巻く周辺の情報も積極的に収集していきたいと管理者は考えている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	入居者、入居者家族、地域包括支援センター、市議会議員等で委員が構成されており、利用状況やサービスについて話し合っている。定期的な開催や参加者の範囲等での検討をしている状況である。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	入居者一人ひとりに対して担当職員が割り当てられており、その担当者が月に1回、家族に便りを送付して入居者の日々の暮らしぶりや状況を分かりやすく伝えている。家族が気軽に話ができるような和やかな雰囲気づくりに十分配慮をしながら、職員全員で意見や要望への対応についての話し合いも定期的に行われている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入しており、年に2回の清掃活動や新年会等の行事に参加している。また、ホームで行う納涼祭等には、地域の方に案内を出して気軽に訪れることができるような取り組みがされている。「困った時はお互い様」というさり気ない関わりを大切にしながら地域との連携を図っている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自分が常に入居者の立場に立って考えることを基本としてより良いサービスが提供できるよう、一人ひとりに丁寧に、そして精一杯の気持ちで接することを大切に考えている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者も日々のケアに参加しており、日常的に日々の気づきを話し合うとともに、毎月25日の18時から20時に全体会議を行っており、そこで徹底を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に参加をしており、年に2回の清掃活動、新年会、回覧板の配布等で地元の人々と交流することに努めている。また、ホームでの行事を案内して参加していただくよう努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員に自己評価票を配布して、取りまとめながら具体的な改善に取り組む気づきの機会として活かしている。		

グループホーム青い空

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、入居者家族、地域包括支援センター、市議会議員と職員で構成されており、利用状況やサービスについて話し合っている。	○	定期的な開催までは至っていないため、今後、定期的に開催して意見等をもらいながら、サービスの向上に活かせるような取り組みの検討などをしていくことを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは運営推進会議以外に行き来する機会がとられていない。	○	市の職員に対しても活動等を理解・把握してもらうような働きかけをするとともに、サービスの質の向上にとともに取り組めるような関係づくりをしていくことに期待したい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回、入居者一人ひとりの家族に便りを送付して、入居者の日々の暮らしぶりや状況を報告している。また、より細やかな対応ができるように職員の担当制を取り入れている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が気軽に意見や希望を話せるような雰囲気づくりをしながら、キャッチした情報については職員全員に周知するような仕組みになっており、意見や要望を運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者のダメージを防ぐため、離職を最小限に抑える努力をしている。新しい職員が入る場合には、きちんと紹介をして、入居者も早く馴染めるようにしている。		

グループホーム青い空

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の自主性を高める工夫をしながら、段階に応じて法人内外の研修を年1回以上は受けられるよう機会の確保をしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームとの交流の機会を持ち、お互いの良い点を学び合うネットワークができており、サービスの質の向上に活かしている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学や面談をしながら、職員や他の入居者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族と十分に話し合いながら支援している。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	習字やリズム体操、生け花、絵描き、ゲーム、工作等も取り入れながら入居者と職員が喜怒哀楽を共にし、入居者から学ぶ機会や支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「本人本位」をケアの基本としており、職員ができる最大限の対応をしながら、一人ひとりの思いや暮らしの希望、意向の把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月の全体会議で入居者に対する課題やケアのあり方について検討をしており、日々のケアでの気づきも取り入れながら、家族との話し合いのもとで介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化が見られた時点で、その都度担当職員や家族との話し合いを持ちながら随時新たな計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族等の面会時間の設定もなく、可能な限り外出したりと、入居者や家族の要望に対して柔軟に支援をしている。		

グループホーム青い空


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望により総合病院での受診もできるようになっている。協力医との連携も強く、24時間対応可能な体制をつくりながら、適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	協力医は、往診など24時間の対応が可能であり、ターミナル期への対応も実践している。また、重度化に対しても家族やかかりつけ医等との話し合いを十分にいき、職員全員で方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	管理者は年2回ほど、職員の言葉づかいや態度について職員と話し合う機会を設けている。また、日々「その場に家族がいると思って話しかけること」を職員に繰り返し伝えており、プライバシーの確保の徹底に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	身体機能の低下等が見られホームで過ごす機会が多くなっているが、外出する機会を積極的につくったり、室内であっても入居者が選ぶ機会を大切にしながら、入居者のペースに合わせて希望に沿って支援している。		

グループホーム青い空

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その時に食べたいものを話し合いながら、冷蔵庫や在庫の食材を入居者に伝え、その場で献立と一緒に考えることで食事が楽しみなものになるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回以上を目安として、午前と午後に分けて入居者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて対応できるような体制になっている。毎日バイタルを確認しながら可能な限り入浴できるように支援している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	担当の職員を決めて、月に1~2回程の外出や外食の行事を企画している。また、習字や生け花、絵画、工作等のレクリエーションも取り入れて一人ひとりの生活歴や力を活かした楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月1~2回の外出や外食のほかに、年に1度、入居者と職員で泊まりの旅行をしている。入居者の身体状況に配慮しながら積極的に外出できるような機会をつくっている。	○	玄関から外に出られる身体状況の方が非常に少ないが、日光浴が出来るような環境づくりを検討していくことを期待したい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者および全ての職員が鍵をかけることの弊害を理解しているが、転倒等の防止のために居室や玄関に鍵をかけている。	○	家具等の置き場所等の工夫もしながら、職員の見守りを継続しながら鍵をかけないケアを検討するよう期待したい。

グループホーム青い空

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1回、消防署との避難訓練を実施している。また、地元の人々の協力を得られる体制にもなっている。職員は緊急時に手当てが出来るように講習を受けている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は1日5回の摂取を基本として十分に摂れるような配慮がされている。また、栄養はバランスを考えた献立とし、週1回、液状総合栄養食を飲む等の支援をしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者に確認をしながら、不快な音や光が入らないよう配慮している。また、玄関や食堂、居室等に季節の花を飾り四季を感じられるよう工夫をして居心地よく過ごせるように配慮をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた家具等の持ち込みは自由となっており、本人や家族と相談しながら居心地良く過ごせるような居室づくりを支援している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。